

'14.9

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 木南岩男
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261(代)☎650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安 平 一 志
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第685号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成26年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲有限会社キタフジの皆さん。淡路島でとれた魚を1つ1つ丁寧に加工処理を行う。

Contents

- 県連合会Letter** ————— 2～3頁
 - ・第1回商工会管理者研修会・事務局連絡会議
 - ・「小規模企業振興基本法」等が成立
 - ・第2回理事会
 - ・県青連第20回主張発表大会・第2回幹部講習会
 - ・県女連正副会長・常任理事会
 - ・商工会管理職養成研修会
- あなたのまちの元気な企業(五色町)** 4頁
- 商工会Letter** ————— 5～6頁
 - ・経営革新塾を開講……………(姫路市)
 - ・メンタルヘルス対策で組織と従業員に活力を!
……………(新温泉町)
 - ・西播磨地域合同企業説明会……………(上郡町)
 - ・池田泉州銀行相談役の講演会・交流会を開催
……………(川西市)

淡路の鮮魚の魅力を全国へ

有限会社 キタフジ
(五色町)

有限会社キタフジ(代表取締役 北本逸男氏)は、淡路市で鮮魚及び水産加工業として開業し、平成18年に漁港に近い五色町へ移転した。

社長の経験や実体験から魚を調理する人の立場にたった提供方法が同社創業のきっかけになり、商品開発の原動力となっている。

社訓「企業は何よりも人にあり。全社員が一体となり、企業を成長させる。」を掲げ、今日も淡路の魅力を発信している。

(詳細は4頁)

第1回商工会管理者研修会 及び事務局連絡会議を開催



▲「よろず支援拠点」について
説明する斉藤氏

社電通の小泉格氏が説明。最後に平成26年度小規模事業者持続化補助金審査の総括として、シエラコンサルティング株式会社の上居宗一氏より説明。

研修に引き続き、事務局連絡会議を開催。初めに安平専務理事が挨拶として「今の状況をチャンスと思ひ、商工会が一丸となって取組んでいくべきだ」と商工会の現状と展望について述べた。その後、県連合会から各商工会の事務局長等に対し、伝達すべき事項について、それぞれの担当課長より説明。その後の質疑応答・意見交換では、持続化補助金の採択基準等について、活発な意見が出された。

県連合会は7月23日、神戸市「ホテル北野プラザ六甲荘」で第1回商工会管理者研修会及び事務局連絡会議を開催した。本来は、7月10日に南あわじ市で開催する予定であったが、台風8号の影響で延期しての開催となった。



▲活発な意見交換が行われた

「小規模企業振興 基本法」等が成立

かねてから、全国の商工会組織が長年要望してきた「小規模企業振興基本法」及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」が、平成26年6月20日第186回通常国会において成立し、平成26年6月27日に、それぞれ法律第94号・第95号として公布されました。

この基本法の最大のポイント
は中小企業基本法の基本理念である「成長発展」のみならず技術やノウハウの向上、安定的な

雇用の維持等を含む「事業の持続的発展」を位置づけたことです。これにより、地域に根差し地域経済を支えている小規模企業に焦点をあてた施策が一層拡充されることとなります。また、支援法の改正では、商工会は小規模事業者への販路開拓や事業承継等の課題に対し、寄り添って支援する支援計画（経営発達支援計画）を策定し、国が認定・公表するようになります。

この2つの法律が成立したことから、実効性のある小規模企業施策が実施されるようになりますので、今後は商工会の役割がますます重要となつてきます。

9月のこよみ

- 4日(木)～5日(金) 近畿ブロック女性部主張発表大会
- 9日(火) 第2回管理職養成研修会
- 10日(水)～11日(木) 近畿ブロック青年部主張発表大会
チーフコーディネーター研修会
- 17日(水) 第3回業務別研修会
- 19日(金) ネットde記帳研修会
- 26日(金) 第3回中小企業支援力向上研修会
- 28日(日) 青年部ソフトボール大会
- 30日(火) 商工会管理者研修会

10月のこよみ

- 2日(木)～3日(金) 同友会視察研修
- 11日(土) 商工会等職員昇格試験（筆記）
- 16日(木) 第3回レベルアップ研修会
- 22日(水)・24日(金) 第4回業務別研修会
- 22日(水)～23日(木) 近青連ブロックリーダー研修
- 30日(木) 近職協経営支援事例発表近畿大会

土地や家屋を取得した場合は 不動産取得税の申告を お忘れなく！

詳しくは、最寄りの県税事務所に
お問い合わせください。

<兵庫県・県税事務所>



確実にやるのは
どこでもできる。
確実に速くやるからこそ
「価値」になる。

三井住友銀行
LEAD THE VALUE
三井住友フィナンシャルグループ

第2回理事会を開催

県連合会は、7月30日、平成26年度第2回理事会を県商工会館において開催し、30名が出席した。

理事会に先立ち上山修一主任チーフアドバイザーより「平成26年度小規模事業者持続化補助金審査総括」と題して、審査結果に至る経過等について報告が行われた。

その後、木南会長から挨拶があり、次の3議案について審議した。その結果、いずれも原案のとおり承認された。

- ①月刊「商工会」の商工会全役員の購読について
- ②商工会幹部研修会について

県女連 正副会長・常任理事会を開催

県商工会女性部連合会（坂本ひとみ会長）は、7月2日、神戸市・県商工会館で正副会長・常任理事会を開催した。当日の協議事項は次のとおり。

- ①組織支援事業採択について
- ②青年・女性事業者等活性化セミナー事業について
- ③女性部運営要領について

③第54回商工会全国大会について
また、報告事項は次のとおり。
①平成26年度各商工会通常総代会における県下商工会の状況について

②平成26年度異業種交流活性化支援事業採択結果について

③「新ネットde記帳普及員」及び「小規模事業者データ調査員」の設置事業について

④小規模基本法、小規模支援法の概要及び今後の取り組みについて

⑤平成26年度地域力活用市場獲得等支援事業の採択状況について

理事会終了後、同会場において交流会を開催し、各商工会が抱える課題や今後のあるべき姿等について情報交換が行われた。

それぞれ協議の結果、原案のとおり承認された。

また、近畿ブロック商工会女性部交流会（9月4日～5日）や女性部県外交流研修会（10月22日～23日）の事業内容等を確認し、積極的に事業協力を行っていくこととなった。

県青連

第20回主張発表大会 及び第2回幹部講習会を開催

最優秀賞の山本さん
（丹波市）近畿大会へ



▲最優秀賞の山本麻那美さん

県商工会青年部連合会（和島将志会長）は、7月24日、多可町・多可町文化会館ベルディーホールにおいて、第20回主張発表大会、第2回幹部講習会を開催し、県下各青年部幹部等200人余が参加した。

最優秀賞には、丹波・篠山地区代表（丹波市商工会青年部）の山本麻那美さんが受賞。大会初となる女性の受賞となり9月10日に和歌山県で開催される近畿ブロック大会の兵庫県代表として出場する。

また、幹部講習会では、稲美町の株式会社稲美乳販 代表取締役・船山英宣氏が「しゃーない、俺から変わって見たるかー」く本気で信頼し、認め合う事が成長の源泉をテーマに講演を行った。

職場を変革するスキル「承認」を学ぶ

～商工会管理職養成研修会～

県連合会は、7月7日、神戸市・兵庫県中央労働センターで中間管理職や管理職候補等の職員を対象に「商工会管理職養成研修会」を開催した。

講師にNPO法人企業内コーチ育成協会代表理事・正田佐与氏を招き、商工会の将来を担う職員の管理能力の向上と組織の活性化を図るために必要なスキルを身につけることを目的に、面談力・指導力を高めるコミュニケーションについて学んだ。

今回の研修では、コーチングにも用いられる「承認」というスキルを使い、部下を指導する方法を学んだ。

「承認」は、相手の存在価値を認めることであり、相手に教える・叱る・助言する際に「承認」を用いて行うことにより指導される側はスムーズに受け入れることができ、指導において幅広く役立つスキルである。

研修では、職場の組織図を作成し、参加者同士でロールプレ



▲グループワークを行う参加者

インクにより実習した。参加者からは「難しいが少しずつ実践してみる。部下に対してだけでなく、会員に対しても実践できる内容だったので勉強になった。」と感想があった。

あなたのまちの**元気な企業**

有限会社 キタフジ (五色町)

淡路島で水揚げされた魚の良さを全国へ

「思い」を「形」に

もともと和食の料理人であった社長の北本逸男氏が、魚を調理していた時に「こういうふう加工してあったら、料理人さんや職人さんが使いやすいのに」と思った自らの経験と、魚の知識など得た経験が商売をするきっかけとなり、平成12年に有限会社キタフジを開業した。



▲淡路島で水揚げされた新鮮な魚

淡路島内の漁業組合と契約し、五色町の鳥飼・都志漁港、南あわじ市の丸山漁港で水揚げされた旬の魚を入札・購入し、自社で加工している。淡路島で水揚

げされるものの一例として、「たこ」「鱧」「サワラ」「鯛」などが

取り上げられる。和食であれば揚げ物や焼き物など料理の一品として使用してもらいやすいよう、魚を切り身にして味噌漬けにするなど加工を施し、ホテルや旅館に卸している。海外で水揚げされた魚は冷凍され、すでに国内に出货っており焼き物などに取り扱われることが多く、国内で水揚げされた魚はお刺身などで提供するお店が多い。四方を海に囲まれた淡路島の土地を活かし、淡路で捕れた魚を料理人が調理しやすいように加工してから卸すことにより、料理人たちから大変重宝されるようになった。

自社を見つめ直す きっかけ

創業してから10年経過した頃、売上が創業時に思い描いていたようにならず伸び悩んでいた。ちょうどその頃、商工会が経営革新の支援をしていることを知り、以前から「商品開発をした

い」と思っていたこと、「このままではいけない」という思いが経営革新に取り組みきっかけとなり、商工会職員と二人三脚で計画をねった結果、承認をうけることができた。



▲切り身にした魚に加工を施す

しかし現実には資金繰りなど経営課題が多く、設備投資が思うように実行できず開発まで至っていない。このような状況であっても商品開発に対する思いは失っていない。経営革新計画が承認されたことがいい刺激となり、他社や他の業種など幅広く見る目が養われ、経営に対する意識が変わったと北本専務は語る。

美味しさと魅力を 全国へ発信

同社から北に位置する岩屋漁港では水揚げされた生しらすの質にこだわり、贅沢に使った「生

しらす丼」が淡路グルメブランドの1つとして、観光客誘致につながっている。島外の人に対するPR方法などを参考に現在、五色町で水揚げ量が多いサワラを簡単に調理できるように加工を施した商品開発に取り組みしており、これから売り出していくと考えている。自社工場で捕れたての魚を手作業で1つ1つ丁寧に加工し、真空パックした商品をマイナス40度の瞬間冷凍庫で一気に凍結させ保管することで、鮮魚の美味しさを失わずに提供することが可能となった。



▲1つ1つ丁寧に手作業で処理をする

また、業務用の商品（フィレやつぼ抜き等）のオーダーを受け付けるだけでなく、個人向けに6月上旬から9月上旬に旬をむかえる「鱧」を使った「鱧すきセット」を限定商品として販



▲専務の北本富士氏

売している。

北本専務は「販売方法のツールとしてネット販売もあるので、今後はフェイスブックなどSNSを活用し自社の魅力を全国へ発信していきたい。地元の子どもたちには、学校給食をとおして淡路島のおいしい食べ物をたくさん知って欲しい。」と語った。また、「勉強することがまだまだ多いので、商工会が主催する事業や研修会にも積極的に参加し、これからも地域と共に発展を目指していく。」と意気込みを述べた。

【企業概要】

企業名 / 有限会社キタフジ
代表者 / 北本 逸男
創業 / 平成12年
所在地 / 洲本市五色町鳥飼浦90
TEL 0799-30-4066
FAX 0799-30-4067
定休日 / 年中無休
営業時間 / 6:00~17:00

姫路市
商工会

経営戦略に役立つスキルを習得

経営革新塾を開講



▲経営革新について学ぶ

姫路市商工会（上西健一郎会長）は7月25日、同商工会香寺支所で「経営革新塾」を開講した。

同塾は、経営課題に挑戦する中小企業の経営革新を支援すべく、更なる経営戦略に役立つスキル習得と実践能力を身につけようとするもので、姫路市から受託された中小企業人材養成セミナー事業の一環。

当日は、同市内の中小企業経営者や幹部社員など20名が参加。

まず、中小企業診断士の藤尾政明氏が「経営革新の必要性と概要」と題して講演。その後、灘菊酒造（同市手柄）の女性社長、川石光佐氏から経営革新の事例について説明があった。

参加者は「会社の体質の見直しを図り、経営革新の承認を目指していきたい」と話していた。今後は、9月5日まで個別相談会を含め7回の講座を予定している。

町会
温泉工
新商

労働環境対策事業 メンタルヘルス対策で 組織と従業員に活力を！

新温泉町商工会（猪坂悦司会長）は7月25日、同町温泉支所においてメンタルヘルス研修を開催した。

本年度は、従業員の心の健康維持を目的に人事や労務関係の相談業務を行う社会保険労務事務所「ヒューマンアシスト」代表の水田かほる氏に講師をお願いし町内の事業主、管理職など約20名が産業カウンセラーの語らトラブル防止や職場の活力量

上のポイントに耳を傾けた。

水田氏は、職場での人間関係などを原因とする精神障害の労災請求件数が増加している状況を紹介。メンタルヘルスの不調が企業経営のリスクになっていると指摘して「明るい職場づくりは業績アップにもつながる」と健康管理の意義を強調した。研修当日は、町の健康福祉課の保健師やケアマネージャーも積極的に参加し、商工会との連



▲健康管理の意義について学ぶ参加者

携の必要性を感じ、今後の協力体制に繋げる機会となった研修会であった。

ひょうご支援の扉

使命感新たに！
支援体制の強化へ



多可町商工会
後藤 泰樹

平成26年6月、「小規模企業振興基本法」及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」が成立・公布されました。この情報を確認した瞬間、「会員さんや私たちの悲願がようやく現実のものとなった」とこれに対する大きな喜びと、中央で成立に向けて奔走された関係各位、特に松村・渡辺・宮本先生のご功績・ご苦勞に心からの敬意と感謝を覚えました。

振り返りますと、私が商工会に入った平成11年から今日まで約15年の間にも様々な変化がありました。幾つかのターニングポイントの中でも、私は、商工会法制化50周年の節目で設定されたスローガン「行きます・聞きます・提案します」の制定や、平成24年8月から施行された「経営革新等支援機関」認定制度は特に大きな影響を持つものであり、いずれも商工会の真価を問われる時代背景の中でのアクションであったと思います。こうして真価を問われてきた中で、揺るぎなく大切に思ってきたのは、「私たちこそが地域の中小企業のあらゆる相談に、公的な立場で、真に親身になって相談に対応できる組織」であるという自負と信念でした。

商工会に入りたての頃は、商工会の特殊な仕事・領域に戸惑うこともありましたが、「会員企業のお役に立てた」という経験を繰り返すうちに「中小企業を現場の最前線で支援する公的組織」に所属する職員として仕事への「誇り」と「使命感」を強く持つようになりました。

このたび法律が新しく整備されたことは、「私たちこそが現場の最前線にいる組織であり、その影響力・組織力を認められた」ということの証でもあると理解しています。それ故、高まる期待の中で成果も今まで以上に求められると思いますが、その期待にしっかりと応えていくため、我々に課せられたミッションを理解し、使命感新たに商工会の本来業務である「経営指導業務」や「経営事業」の一層の充実と、高度化する経営課題に対し、制度や施策を大いに活用した「伴走型の支援体制」の強化・充実を図っていく所存です。

平素、本会の運営に格別のご理解とご協力を頂いております。会員企業と良好な信頼関係のもと、これからも商工会職員の誇りを胸に、地域のために益々頑張っていきたいと思っております。

コラム

携の必要性を感じ、今後の協力体制に繋げる機会となった研修会であった。

携の必要性を感じ、今後の協力体制に繋げる機会となった研修会であった。

西播磨地域商工会

合同企業説明会を開催

西播磨地域商工会振興協議会（小河清之会長）では去る7月22日、たつの市の国民宿舎「志んぐ荘」において、「西播磨地域商工会合同企業説明会」を開催した。

これは、特に中小・小規模事業において人手不足が顕著となる中、求人活動と優秀な人材確保を支援しようと、「西播磨地域人材確保協議会」の全面的な協力を得て、同地区の5商工会が共同で取り組んだもの。対象者は来春卒業予定者並びに一般求職者（概ね39歳まで）。50社を目標に募集したところ、官公庁も含め48の参加があった。また当日は、黒のリクルートスーツを着込んだ求職者等約100人が来場。受付で渡され

た資料を手に、最初は硬い表情も見受けられたが、すぐに緊張もほぐれ、次第に笑顔で企業担当者と話をする姿が目立つようになった。

この説明会は、同協議会として初の取り組みではあったが、人材の確保は企業の命題でもあるだけに、多くの参加事業所から感謝の声が寄せられた。



▲リクルートスーツを着込んだ求職者たち

新規採用職員の紹介



氏名：坂本 大輔

8月から朝来市商工会に勤めさせて頂いております、坂本大輔と申します。

多岐に亘る業務につきまして広く理解を深めていき、地域の商工業者の方々のお力になれるように頑張ります。宜しくお願いいたします。

川西市商工会（大智靖志会長）は7月17日に池田泉州銀行の前頭取 服部盛隆相談役を講師に招き、講演会『地元企業への期待』と地域経済活性化に向けて「および交流会を開催した。参加者は76名と製造業・建設業・小売・卸・サービス業等と、業種を問わず幅広い方々が集まった。



▲企業への期待を熱く語る服部盛隆相談役

講演会後の交流会では、事業のヒントやビジネスパートナー・事業連携の可能性を模索する動きがあるなど、参加者からは熱気を感じられ、大いに盛り上がる交流会となった。

川西市商工会

地域経済活性化に向けて 講演会・交流会を開催

経営者と従業員のための全国商工会休業補償制度

商工会の休業補償プラン

所得保障保険団体契約（天災危険担保特約付）

【特徴】

- ①一般保険料に比べ割安（団体割引）
- ②最長1年間のロングサポート（免責7日間）
- ③自宅療養中もサポート（医師の治療を受けていることにより全く動けない場合）
- ④24時間いつでもサポート
- ⑤加入時の医師の審査は不要
- ⑥家事従事者の方も対象に（入院時のみ補償）
- ⑦地震、噴火またはこれらによる津波によるケガもサポート

【保険期間】

平成26年10月1日から1年間

【加入資格】

- *全国商工会の会員事業所の事業主（法人の場合は役員）、従業員の方。
- *上記事業主、従業員の配偶者である専業主婦（家事従事者）の方
- *加入年齢については、各商工会へお問い合わせください。

【引受保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社・株式会社損害保険ジャパン・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

～お問い合わせは各商工会まで～

—中小企業と共に50年—

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階
☎ 078-361-8083 Fax 078-371-6757
ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

ジブラルタ生命は、お客さま一人ひとりを大切に心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”

～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています

Gibraltar
ジブラルタ生命